



—宝が池プレイパーク—

平成 24年度

PLAY PARK

かほいのようす

師走



H24年 12月 2日 (日)	
天候: 曇り時々晴れ	気温: 8.0℃
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 など	
参加者数	250 人
スタッフ: 5 人	
・リーダー: ちゃら、クラーク、フィズ ・緑化協会: 野田、小川	

○12月初めから、冬らしい寒い日が続きました。

今年は、ナラ枯れやシカ害のためにますますどんぐりが少なくなってしまい、子どもたちがいつも楽しんでいた‘どんぐりクラフト’ができなくなってしまいました。

& 木のぶらんこも、取り付けている木が枯れ始めてしまい、危なくなったため、取り外すこととなり、子どもたちも残念そうです。でも、そこは気分をきりかえて、元気に走り回っています。



H24年 12月 9日 (日)	
天候: 晴れ	気温: 6.0℃
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 など	
参加者数	80 人
スタッフ: 3 人	
・リーダー: ちゃら、クラーク ・緑化協会: 小川	

○9日は、特にさむ～い一日でしたが、終日、次々と家族連れがやってきました。コマとフラフープは、おとなも一緒に楽しめる定番として、寒い時期も人気です。



元気な女の子たちと、ドッジボール！

H24年 12月 16日 (日)	
天候: 曇りのち晴れ	気温: 14.0℃
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 □まつぼっくりクラフト など	
参加者数	70 人
スタッフ: 7人	
・リーダー: ちゃら、クラーク、フィズ、けんこば、つとむ ・緑化協会: 野田・小川	

○16日、少し気温が上がりましたが、曇りがちな天候のためか、人出は少なめでした。

前日のリースづくりで使いきらなかった材料で、作品づくりを楽しむ子どももいました。

○23日、新メンバーのふーたん登場。風船を使った、いろいろなあそびや人形づくりを教えてくださいました。みんなで技を習って、チャレンジ！途中で、何度も風船を割ってしまいましたが、雪だるまなど、かわいい作品がいくつもできあがりしましたよ！特にお母さんが夢中になっていました^^/



ゴミ袋の中に風船をいれた「凧」が登場！

もっと いろいろな種類に挑戦したいですね★

H24年 12月 23日 (日)	
天候: 晴れ時々曇り	気温: 10.0℃
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 □フーセンあそび など	
参加者数	70 人
スタッフ: 6 人	
・リーダー: ちゃら、クラーク、けんこば ・サポーター: ふーたん ・緑化協会: 野田・小川	



新メンバーのふーたんの指導で完成した、フーセン人形の数々・・・。

古代のくらし体験シリーズ 「食べられるどんぐりはどれ? ～どんぐりクッキーをつくろう～」

H24年 12月 1日 (土)	
13:00～15:30	
天候:曇りのち雨	気温: 9.0℃
参加者数	26 人 (合計)
スタッフ: 6 人	
・講師: 京都市埋蔵文化財研究所 3名	
・スタッフ: ちゃら	
・緑化協会: 野田・小川	

企画・運営協力は いつもの「埋蔵文化財研究所」
講師は おなじみの 吉崎さん・辻さんです!



今年も「どんぐりクッキー」の季節到来。だんだんグレードアップして、今回はフライパンではなく、石の板が登場です。マテバシイ、スタジイ、シリブカガシといったおいしいどんぐりの皮を取ったり、すりつぶしたり・・・子どもたちには、とっても楽しい作業のようで、みんな交代して作業を進めました。



あいにくの雨のお天気でしたが、楽園中の子どもたちが集まって、ととてものにぎやかな一日になりました。古代米、もち米での‘おもちつき’も楽しみ、味わいました★



最後に、竹と笹の弓矢で、特性のハスの葉の的を射ってあそびました。古代のくらしを体感した一日、来年の更なるグレードアップが楽しみです!

★恒例★ 「森の手入れとリースづくり～」

H24年 12月 15日 (土)	
13:00～15:30	
天候:曇りのち雨	気温: 13.0℃
参加者数	17 人
スタッフ: 5 人	
・スタッフ: 龍谷2名、ゆこりん	
・緑化協会: 野田・小川	



毎年、この時期に行っている、林縁のツルを伐って、それを使ってクリスマスリースづくり。

年々、森がナラ枯れやシカ害でツルなどの植物相がどんどんと乏しくなっているため、今年は、ツルはあまり使わずに、マツボックリを使った

リースが主体となりました。今回は、いろいろな種類のマツボックリや木の実を盛りだくさん使ったデコラティブなリースもたくさんできあがりました!

来年は、森が少し回復して豊かになっていることを願うところです。



ホットボンドも上手に使いながら作品をつくりました



★★ ミニプレイパーク ～～ 宝が池 森の幼稚園 をめざそう ～～

幼児向け「けむんぱくらぶ」!



H24年 12月 14日 (金)

くめぎクラス * 14:00~15:30

天候: 曇り 気温: 12.0°C

内容

- 絵本読み聞かせ
- 公園のおさんぽ & かけっこ
- 簡単リースづくり 焼き芋など

参加者数 7 人 (3組)

スタッフ: 2人

・緑化協会: 小谷・野田



寒い時期になってきましたが、この日はメンバーのお兄さんも一緒に来て、かけっこするなど、身体を動かして 温まりました。

枝や落ち葉を拾って、クリスマスの飾り つくりも楽しみましたよ。



落ち葉がいっぱいのこの季節。落ち葉に飛び込んだり、かけあったり……。最後にやきいも堪能しました!



H24年 12月 25日 (火)

こならクラス * 10:00~11:30

天候: 晴れ 気温: 8.0°C

内容

- 絵本読み聞かせ
- 森のおさんぽ& 宝探し
- お飾りづくり 焼き芋 など

参加者数: 16 人 (7組)

スタッフ: 3人

・緑化協会: 小谷・野田・小川



★★ こどもの楽園 * サイエンスワークショップ * 水のオリンピック in 宝が池! ★★

H24年 12月 23日 (日)

13:30~15:00

天候: 晴れ時々曇り 気温: 8.0°C

参加者数: 19 組

アースパル: 4名

プレイパークリーダー: ちゃら、クラーク

緑化協会スタッフ: 谷川

企画・運営は

「Earth-PAL」のみなさん



サイエンスワークショップの最終回。さむ~い季節ですが、「水」をテーマにしたプログラムです。ゲーム方式で、いろいろな視点から水の特性を学んでいきました。



今回で合計3回のシリーズが終了です。お天気に恵まれない時もありましたが、毎回、休まず参加してくれた参加者もいました。来年度もバージョンアップしてサイエンス系のプログラムを継続していきたいと思っています!



ピーカーで実験?! まとめの記録もします。



姿を変える水。いろんな水場と生きものとの関係を考えて、水鉄砲で、水の力をみたり……。

12月のフレイパーク&周辺の概況

■いよいよ年末。月初からぐっと冷え込みました。土曜日はあいにく雨の天候となりましたが、日曜日は概ね良好な天候となり、多くの子どもたちがやってきました。

■例年は、コナラの落ち葉でフレイパーク全体がぎっしり埋めつくされ、別世界となるのですが、今年はナラ枯れの影響で立ち枯れも多く、伐採によりかなりコナラの本数が減ったことなどから、落ち葉の量が極端に減ってしまい、残念ながら、落ち葉を踏みしめて歩く楽しみを味わうことや、ふかふかの落ち葉ベッドであそぶことができなくなってしまいました。また、枯れていなくても樹勢が落ちているため、ドングリが成熟しないまま落下するなど、ドングリの不作が続いています。うまく成熟したのも、落ちるとすぐにシカに食べられてしまい、子どもたちがドングリ集めをできないことはもちろん、実生から育った幼木もほぼ皆無となっています。このように、ドングリが不足することで、シカ以外の森の動物にとっても冬を迎えるにあたっての食物不足に陥っていると言え、様々な面から森の生態系の劣化が懸念されます。

■このような状況のため、自然あそび教室のプログラムにおいては、これまでできていたことができなくなるなど大きな影響が出ています。また、大きな枝の落下や土の流出などによる地面の劣化など安全性に不安が生じる中、林内利用は制限をせざるを得ない状況となっており、自由な遊び場環境の維持、豊かな自然に囲まれたフィールドの特異性・魅力が失われていることは、フレイパークの運営全体において、大きな問題となっていると言えます。

■大きなイベントなどが続いた秋と違い、冬は落ち着いた環境の中で過ごすことができる期間となります。スタッフもじっくりと子どもたちと向き合うことができます。適度な人数で遊びや対話を深めたり、ゆっくりと自然と対話できる季節を楽しんでいきたいと思えます。

◆通常フレイパーク+けむんぱくらぶ◆

○ほぼ、毎週参加のリーダーの存在は、フレイパークを活気づけてくれると同時に、子どもたちがあそびに来る目的のひとつにもなっています。協会のスタッフにとっても、現場を任せる上で、安心度も高まってきています。他のリーダーにとっても頼りになる存在となってくれることが期待されます。

○「けむんぱくらぶ」は、少しずつメンバーが増えてきています。寒い中でも、休まずに参加する姿勢がみられ、月1回の機会を楽しみにしている様子がかがえます。兄弟も一緒に参加するなど、なごやかな雰囲気です。

○森に入れる範囲が狭まり、林内で自由に遊んでもらえる状況が失われてしまっていることは、残念な限りです。来園者があまり多くない時期に入ることもあり、スタッフが付き添うなど、遊びの領域が狭まることのないよう、工夫していきたいものです。

◆自然あそび教室◆

○12月の自然あそび教室は、恒例のプログラム2つです。
・1日は「食べられるドングリはどれ?~ドングリクッキーづくり~」。埋蔵文化財研究所とのコラボ開催の最終回です。大雨にも関わらず、にぎわいました。やはり「食」に絡むことは楽しさも倍増のようです。食べることから興味を広げて自然と暮らしのつながりを体得してもらいたいものです。

・15日は「森の手入れとリースづくり」。森の様相が激変してしまい、林縁の植物相も貧弱になってしまった中での開催となりましたが、ひとりひとり工夫を凝らした作品が完成しました。材料集めなどができない場合も、一度は森の中に入る過程を組み込みたいと思えます。

○楽園事業のサイエンスワークショップには、自然あそびくらぶメンバーも多く参加しています。様々なプログラムやイベントを横断的に繋いで、楽園全体としてのプログラムの充実度をあげていきたいものです。

..... どんぐりまつり 「どんぐりをそだてよう」その後

○ どんぐりの木を育てよう プログラムでフレイパーク周辺に植えた小さな苗木たち。防御ネットのおかげで、今のところシカの被害は受けていません。ただし、1本だけネットが倒れているのを発見。誰か~人?シカ?~がぶつかって倒れたのか、大雨などで倒れてしまったのかは不明です。春になって、新芽が出始めたところが要注意です。

